

4

2023
No 1289

建設物価

CONTENTS

目次

本誌の見方

information

掲載価格と最頻値集中度

記事

- 01 主要資材動向
- 02 主要資材市況
- 04 主要資材価格推移表
- 06 建設時評
文芸のなかの建設と利他
- 08 公共工事設計労務単価、11年連続の引き上げ
9年ぶりに5%以上の伸び
- 11 建設分野における外国人材の活躍
- 16 未来を創る研究室
- 20 研究助成事業報告
共立女子大学ビジネス学部・教授 荒井弘毅
- 34 建設経済の状況
- 38 建設資材物価指数
- 48 建築費指数
- 50 土木学会選奨土木遺産紹介

◎巻末の「ご購入者アンケート」にご協力ください

表紙写真 「天空の停車場」

撮影者：長 吉秀（福岡県）

撮影場所：北九州市皿倉山ケーブルカー山頂

この写真は、一般社団法人建設広報協会主催、国土交通省後援、「豊かで住みよい国づくり」フォトコンテストの入賞作品です。

一般社団法人建設広報協会
<https://www.cprahp.com/>

INDEX

ページ

		ページ
鉄鋼		1
通信・防災・接地材	621	19
鉄鋼二次製品・非鉄金属	54	2
配管材・計器・保温保冷材	653	20
セメント・生コン・混和材	78	3
ポンプ・空調機器・ダクト	716	21
骨材・コンクリート杭・矢板	124	4
衛生・給排水・給湯機器	752	22
木材・仮設材	153	5
環境保全・体育・福祉関連	768	23
接着剤・補修補強材・塗料	190	6
建設機器・燃料・スクラップ	781	24
道路用材	206	7
賃貸料金	800	25
上下水道・土地改良材	283	8
工事費	830	26
橋梁・河川・港湾用材	333	9
調査費・試験費	856	27
一般土木用材	360	10
保守点検料金・清掃管理費	871	28
造園・緑化材	404	11
労務費・サービス料金	879	29
組積・防水・石・タイル	453	12
建設副産物処理・処分情報	901	30
屋根・建築金物・左官	465	13
海外建設資材情報	932	31
建具・ガラス	482	14
建設物価 DB 利用可能積算ソフト	942	32
内外装・外構材	500	15
掲載メーカー問合せ先一覧・広告索引	945	33
ケーブル・電線	538	16
索引	964	34
配線材・管路材・ダクト	561	17
取扱書店・出版物等一覧	1004	35
配電・配線器具・照明器具	593	18

資材・工事費編等の詳細目次は次ページにあります

【災害に関する建設資材情報と支援について】

当会では、甚大な災害が発生した場合、被災地域における主要建設資材や復旧に必要な資機材の供給情報等を発信しています。また、復旧・復興に向けた支援にも取り組んでいます。詳しくは、公式ホームページ内「災害関連情報・支援」をご覧ください。
<https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/saigai/>

本誌記事を読み、学習することは、「土木学会」「建設コンサルタンツ協会」のCPD教育形態の「自己学習（学会誌等の購読）」に相当し、単位を取得できます。※詳細は各団体により異なりますので、ご確認ください。

Web表示のある項目は、本誌未掲載の価格情報を「Web 建設物価」に追加掲載しております。
「Web 建設物価」については、
<https://www.web-ken.jp/>をご覧ください。
単独掲載品目・都市リストを参照ください。

『掲載誌確認ツール』で検索

当会の価格情報誌を横断的かつ柔軟に検索できます。
<https://search.kensetu-navi.com/>

資 材 編

1. 鉄 鋼

月積み販売価格

鉄鋼掲載価格の解説1
形 鋼2
形鋼エクストラ2
鋼矢板4
鋼矢板エクストラ4
近接施工用土留鋼材4
ポケット付遮水鋼製壁4
鋼管ぐい・鋼管矢板5
鋼管ぐい・鋼管矢板エクストラ5
鋼 管7
鋼管エクストラ7
鋼板・平鋼8
鋼板・平鋼エクストラ8
各種エクストラの解説12
積算実例と解説13

鉄 鋼

Web 異形棒鋼16
ねじ節鉄筋16
異形棒鋼エポキシ樹脂塗装費22
Web 一般構造用丸鋼22
Web 鉄筋用小形丸鋼22
機械式鉄筋定着加工費22
鉄筋かご無溶接工法用部材23
機械式継手24
Web 平 鋼25
広幅平鋼25

Web H形鋼26
Web 等辺山形鋼30
Web 溝形鋼30
Web 不等辺山形鋼30
Web I形鋼30
リップ溝形鋼36
カラーリップ溝形鋼36
亜鉛めっきリップ溝形鋼36
軽溝形鋼36
軽量H形鋼37
キーストプレート37
デッキプレート37
床用鋼板39
簡易鋼製床材39
鋼 板40
Web しま鋼板43
切板(ひも付き)44
切板(市中)44
切板(ひも付き)エクストラ45
Web 一般構造用炭素鋼鋼管46
一般構造用角形鋼管47
小径角形鋼管47
コラム48
熱間成形角形鋼管49
角形鋼管柱・H形鋼はり
接合部材49
軽量鋼矢板50
鋼製地中連続壁用鋼材50
Web ステンレス鋼51
特殊鋼53

2. 鉄鋼二次製品・非鉄金属

溶融(電気)亜鉛めっき鋼板54
塗装亜鉛めっき鋼板54
線材製品56
超厚亜鉛めっき鉄線58
カラー鉄線58
Web アルミめっき鉄線58
Web 亜鉛・アルミ合金めっき鉄線58
特殊くぎ59
特殊線材製品59
Web ワイヤロープ60
Web 摩擦接合用高力ボルト61
あと施工アンカー64
建築構造用アンカーボルト66
Web 六角ボルト66
Web 六角ナット・丸座金68
各種ボルト69
ステンレス六角ボルト70
ステンレスナット・丸座金70
樹脂カプセル71
インサート71

特殊ボルト・特殊ナット72
Web 注入式長尺先受管72
Web ロックボルト72
Web ロックボルト用定着材73
Web スタッド74
溶接金網74
鉄筋金網75
スパイラルフープ75
平織・クリンプ金網75
Web ひし形・きつ甲金網76
エキスパンドメタル76
細線溶接金網76
アルミ圧延品77
伸銅品77
伸銅品の質量と増値77

3. セメント・生コン・混和材

セメント・生コン

セメント・レディーミクスト
(生コン)掲載価格の解説78
Web セメント(バラ)79
特殊セメント(袋)79
Web セメント(袋)80
生コン都市情報81
Web レディーミクストコンクリート(生コン)82
Web モルタル83
早強セメント使用生コン割増額83
高炉セメント使用生コン割増額116
特殊コンクリート116
軽量コンクリート117

コンクリート混和材料

コンクリート混和剤(材)118
無収縮モルタル材121
裏込用混和剤(材)122
特殊用途混和剤(材)123
コンクリート混和材123

4. 骨材・コンクリート杭・矢板

骨材・碎石掲載価格の解説・
都市情報124
Web コンクリート用骨材126
Web 道路用碎石類126
Web 再生碎石類126
人工軽量骨材137

鉄鋼スラグ	137
Web PHCパイプ	138
Web 高強度プレストレストコンクリート	
JIS強化くい	150
SCパイプ	151
場所打ち杭キャップ	152
Web コマ型コンクリートブロック	152
コンクリート矢板	152

5. 木材・仮設材

木 材

木材掲載価格の解説	153
Web 仮設・土木用木材	154
Web 一般建築用木材	160
Web 北海道地区木材	166
沖縄地区木材	167
特殊木材	168
木材保存剤	168
合成木材	168

仮 設 材

枠組足場	169
特殊足場	170
単管足場類	171
足場チェーン	171
斜面用足場ブラケット	171
仮囲い	171
安全手すり	171
ローリングタワー	172
パイプサポート	172
四角支柱	172
鋼製脚立	172
ゴンドラ	172
中空床版用円筒型枠	173
Web 円形型枠	173
Web 角形型枠	174
布製型枠	174
Web コンクリート型枠用合板	175
化粧型枠	176
側溝用埋設型枠	177
埋設型枠	177
Web 残存型枠	177
Web コンクリート構造物用型枠	178
Web 金属製型枠パネル	178
型枠はく離剤	179
型枠関連溶剤	179
型枠用透水はく離シート	179
コンクリート打継目処理材	179

Web 型枠締付け金物	180
Web 合成樹脂スペーサー	181
Web 鋼製スペーサー	181
モルタルスペーサー	181
建築工用養生シート	182
メッシュシート	182
ブルーシート	182
安全ネット	182
防じんネット	182
Web 土のう	183
耐候性大型土のう	183
ポリエステル布风管	184
アルミ製はしご	184
覆工板	185
仮設用マット	185
ユニットハウス	186
テント倉庫	187
簡易物置	188
仮設トイレ	189
本設式トイレ	189
仮設ゲート	189

6. 接着剤・補修補強材・塗料

Web 接着剤	190
コンクリート断面修復材	193
Web 連続繊維シート・メッシュ	194
紫外線硬化型FRPシート	195
表面含浸材	195
コンクリート表面被覆塗料	196
塗膜剥離剤	196
下地調整材	196
鋼構造物用塗料	197
Web 一般建築用塗料	199
Web 希釈剤	199
路面標示用塗料	200
特殊塗料	201
道路用特殊塗料	204

7. 道路用材

アスファルト混合物掲載価格の解説	206
アスファルト混合物都市情報	207
Web アスファルト混合物	208
Web ストレートアスファルト	219
Web アスファルト乳剤	219
Web 舗装用石灰石粉	220
改質アスファルト	221
Web 常温合材	222
Web 凍結防止材	222
Web 舗装用クラック防止材	223

Web 舗装用補修材	223
Web 舗装用添加剤	224
Web カラー舗装材	224
Web 目地板	225
Web 目地材	226
Web コンクリート舗装金具	227
Web 排水用導水管	227
Web 路盤紙	227
道路鋸	228
視線誘導標	229
Web 車線分離標	230
道路標識板	230
道路標識柱	231
道路情報表示板支柱	232
CCTV支柱	232
抵抗板付鋼製杭基礎	232
Web 道路反射鏡	233
保安用品	233
労働保安用品	234
Web 標準型ガードレール	235
Web 標準型ガードレール部材	236
Web 標準型ガードケーブル	237
Web 標準型ガードケーブル部材	238
標準型ボックスビーム	238
標準型ボックスビーム部材	238
Web 標準型ガードパイプ	239
標準型ガードパイプ部材	239
Web 耐雪型ガードレール	240
耐雪型ガードレール部材	240
耐雪型ガードケーブル	241
耐雪型ガードケーブル部材	241
Web 耐雪型ガードパイプ	242
耐雪型ガードパイプ部材	243
ガードレール関連製品	243
ワイヤロープ式防護柵	243
歩道用横断防止柵	244
転落防止柵	245
耐衝撃性ポラード	246
遮音壁	247
トンネル防音扉	247
遮光フェンス	247
車両防護柵	248
高欄	249
組立歩道	251
Web 道路用コンクリート製品	252
暗きょブロック	258
Web 国土交通省規格側溝ふた	258
Web ロングU	258
Web 道路用鉄筋コンクリート側溝	259
Web 自由勾配側溝	260
Web 各種側溝	262
Web 円型水路	267
Web 防護柵基礎	268
張出歩道セーフティロード	268
張出歩道ロードエル	268

Web 防草コンクリート製品	269
Web コンクリート境界杭	269
地区別コンクリート製ます類	270
Web エクステリアコンクリート平板	272
Web ブロック舗装端部拘束材	272
舗装用植生ブロック	272
Web インターロッキングブロック	273
Web 鋼製グレーチング	274
鋼板製グレーチング	279
ハイテン鋼製グレーチング	279
ステンレス製グレーチング	279
ステンレス鋼板製グレーチング	280
Web 特殊グレーチング	280
ダクタイトル鑄鉄製グレーチング	281
普通鑄鉄製グレーチング	282
グレーチング跳ね上がり防止金具	282
歩鋼板	282

8. 上下水道・土地改良材

上・下水道用材

水輸送用塗覆装鋼管	283
ジョイントコート	283
Web ダクタイトル鑄鉄管	285
Web ダクタイトル鑄鉄異形管	286
Web 離脱防止金具	288
強化プラスチック複合管	289
耐圧ポリエチレンリブ管	290
Web 水道配水用ポリエチレン管	291
硬質塩化ビニル製小型マンホール	293
硬質塩化ビニル製公共ます	293
硬質塩化ビニル製宅地ます	293
硬質塩化ビニル製ふた	293
鑄鉄製防護ふた	293
水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管	294
水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	294
下水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管	294
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	294
硬質ポリ塩化ビニル有孔管	294
下水道用接着受口硬質塩化ビニル管	295
下水道用硬質塩化ビニル管継手	296
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管継手	297
水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管継手	298

水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管継手	298
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管	299
合成樹脂製ソフトシール仕切弁	299
合成樹脂製バタフライ弁	299
AVゲートバルブ	299
Web 耐震管路用ダクタイトル鑄鉄管継手付き弁	300
ソフトシール仕切弁	300
Web 手動仕切弁	300
Web 急速空気弁	301
Web ボール式補修弁	301
地下式消火栓	301
Web 手動バタフライ弁	301
下水道用可とう支管継手	302
マンホール用可とう継手	302
ハウジング形継手	302
ダクタイトル鑄鉄製ボール型伸縮可とう管	303
鋼製伸縮可とう管	304
鋼製フランジアダプター	304
ゴム製伸縮可とう管	305
コンクリート製透水管	306
Web 鉄筋コンクリート台付管	306
レジンコンクリート管	308
Web Wジョイント推進管・エクセレント推進管	308
Web 小口径Wジョイント推進管	308
Web 小口径ニューセーフティー推進管・小口径ニューWジョイント推進管	308
Web 小口径推進管	308
Web 下水道推進工法用管	309
Web ニューセーフティー推進管・ニューWジョイント推進管	309
可とう性ヒューム管	309
Web 遠心力鉄筋コンクリート管	310
Web コア式プレストレストコンクリート管	313
浸透ます	314
浸透トレンチ管	314
Web 貯留型浸透多孔板溝	314
遊水池	314
コンクリート防火水槽	315
アーチカルバート	315
Web RCボックスカルバート	316
PCボックスカルバート	317
ハイテンションボックスカルバート	318
ANB可とうジョイント	318
可とうボックスカルバート	318
Web 鉄筋コンクリート製組立マンホール組立式マンホール	319
組立式マンホール	322
Web 下水道用マンホール側塊	322
人孔床版塊	322
レジンコンクリート製マンホール	323

下水道用鉄筋コンクリート製複合マンホール	323
鑄鉄製マンホールふた	324
マンホール用足掛け金物	324

土地改良材

鉄筋コンクリートフリユーム	328
Web 鉄筋コンクリートベンチフリユーム	328
排水用フリユーム	329
Web 水路	329
Web U形プレハブ水路	332
樹脂製角型U字溝	332

9. 橋梁・河川・港湾用材

Web 漏水対策材	333
裏込注入材	333
Web トンネル用防水シート	333
Web トンネル支保工	334
規格水門	335
巻上機	337
Web 橋梁用床版	338
ジョイントファイラー	340
Web ゴム支承	340
Web 鑄鋼製支承	341
Web 橋梁用伸縮装置	342
Web 橋梁用伸縮装置関連部材	346
Web 乾式止水材	346
PC鋼より線	347
Web PC鋼棒	347
ピン型落橋防止装置	347
Web PC用定着装置	348
PC用接続具	349
Web PC用シーす	349
橋梁用水切り材	349
Web 橋梁用FRP製排水柵	350
Web 橋梁排水管用継手	350
Web 橋梁用排水部材	350
Web タイロッド	351
Web タイワイヤー	351
防げん材	352
Web ゴム製タラップ	352
Web 係船柱	353
Web 港湾用車止め	353
岸壁コーナー保護材	353
船揚げ場用滑り材	353
電気防食用アルミ合金陽極	353
Web 浮棧橋	354
港湾築堤マット	354
コンクリート魚礁	354
鋼製魚礁・増殖礁	354

Web 鋼製えん堤	355
Web 特殊かご	356
Web じゃかご	358
袋型根固め用袋材	359
Web かごマット	359

10. 一般土木用材

Web コンクリート擁壁	360
Web 補強土壁	364
Web コンクリート積みブロック	366
Web 大型積みブロック	368
Web 張りブロック	369
Web 連節ブロック	370
Web のり枠ブロック	371
緑化用擁壁ブロック	372
Web 井桁ブロック	372
Web 階段式ブロック	372
魚巢ブロック	372
Web 護床・根固めブロック	373
Web 特殊ブロック	373
Web 石 灰	374
セメント系固化材	374
固化材	374
ベントナイト	377
止水剤	377
土質安定注入薬剤	378
泥水調整剤	378
減摩剤	378
コンクリート養生剤	379
コンクリート養生マット	379
Web 軽量盛土材	379
のり面防護材	380
Web 落石防止網	382
柵工材	383
Web 落石防護柵	384
Web コルゲートパイプ	385
Web コルゲートU字フリューム	386
Web ライナープレート	387
Web コルゲート骨材ピン	387
暗きょ排水管	388
暗きょ排水材及び付属品	391
防草シート	392
土木シート	393
防砂板	396
沈床材	396
Web 土木用遮水シート	397
盛土用フィルター	398
Web ウィーブホール	398
Web プレファブリケイティッド	
パーチカルドレーン	398
Web 止水板	399
火薬掲載価格の解説	400

火薬類標準トラック運賃表	400
火薬等・地方火薬庫渡し加算額	401
産業用火薬類(工場渡し)	401
発破用品	402
移動式火薬庫	402
非火薬破砕剤	402
Web 産業用火薬類	403

11. 造園・緑化材

樹木掲載価格の解説	404
針葉樹・高木	406
常緑広葉樹・高木	408
落葉広葉樹・高木	412
常緑樹・低木	418
落葉樹・低木	420
特殊樹木	421
グラウンドカバープランツ	422
竹	423
玉 物	423
北海道地区樹木	424
沖縄地区樹木	426
緑化基盤材	427
Web のり面緑化材	430
水辺緑化資材	435
Web 芝	436
Web 種 子	436
配合種子	436
肥 料	437
農 薬	438
土壌改良材	438
Web 樹木保護材	440
芝生保護材	441
樹木根囲い保護材	442
樹木支柱	443
Web 樹木支柱丸太	443
造園補助資材	444
草刈機	445
擬 木	446
Web 散水機材類	447
緑化灌水ホースほか	447
遊器具	448
テーブル・ベンチ	449
休養施設	450
公園付帯設備	450
公園補助資材	450
車止め	451
タイヤ止めブロック	452

12. 組積・防水・石・タイル

組積・PC板

建築用コンクリートブロック	453
Web 建築用化粧ブロック	453
空洞プレストレスト	
コンクリートパネル	454
合成床工法用プレキャスト	
コンクリート板	454
れんが	455

防 水 材

Web アスファルト防水材	456
改質アスファルト防水材	456
プライマー類	457
シーリング材	457
Web 伸縮目地材	459
耐震目地材	459

石 材

建築用石材	460
Web 人造石	461
Web 天然石	461

タ イ ル

Web タイル	462
床タイル	464

13. 屋根・建築金物・左官

屋 根 材

Web 粘土がわら	465
屋根下地材	466
Web 屋根仕上材	466
Web トップライト	467
笠 木	468
合成樹脂板(波板)	469
Web 雨どい	470
Web とい受金物	470

建築金物

かすがい・箱金物	471
軸組工法用金物	471
枠組壁工法用金物	471
Web 階段用ノンスリップ	472
Web ピット	472
エキスパンションジョイント	
金物	473
ルーフトレン	474
鋼製グレーチング	475
アルミ製グレーチング	475
Web ジョイナー・コーナー金物	476
床点検口	477
天井点検口	477
建築用鋼製下地材	478

左官材

パーライト	480
プレミックスモルタル	480
着色材	480
モルタル接着増強剤	481
Web 左官用金物	481

14. 建具・ガラス

金属製建具

ビル用スチール規格ドア	482
ビル用手すり	482
シャッター本体	483
シャッター部材・装置	484
オーバーヘッドドア	484
ビル用アルミサッシ	485
ビル用アルミドア	486
防音型ビル用アルミサッシ	487
ビル用アルミサッシ副資材	489
住宅用アルミサッシ	490
Web 住宅用手すり	491
バルコニー	491

建具金物

Web 丁番金物	492
Web 扉錠	492
Web 引戸用金物	493
ピボットヒンジ	493
つり戸用金物	494

ラバトリー金物	494
扉錠	494
Web ドアクローザ	495
フロアヒンジ	495

ガラス

Web 板ガラス	496
ガラスドア	499
ガラスブロック	499
特殊ガラス	499

15. 内外装・外構材

内・外装材

Web 畳材料	500
建材畳	500
木質系床材	501
Web カーペット	503
タイルカーペット	503
ビニル床タイル	504
ビニル床シート	504
ビニル幅木	505
コルクタイル	505
ゴムタイル	505
ブルサイド用床材	505
普通合板	506
Web 構造用合板	508
Web しな合板	508
特殊合板	509
Web せっこうボード	510
Web 化粧せっこうボード	510
スレートボード	511
繊維強化せっこう板	511
けい酸カルシウム板	512
パーティクルボード	513
木毛セメント板	513
繊維板	513
特殊木毛板	513
遮音材	514
放射線防護材	514
吸音板	515
建築用断熱材	516
住宅用断熱材	517
発泡プラスチック保温材	517
壁装材	518
複合板	519
サイディング	520
スラグせっこう板	520
Web 合成樹脂板	521

ふっ素樹脂鋼板	523
プリント鋼板	523
Web 金属内外装材	524
カーテン	525
Web カーテンレール	525
ブラインド	526
アコーディオンドア	526
ピクチャーレール	526

避難設備器具

避難設備器具	527
掲示板	527

外構材

Web ネットフェンス	528
高尺フェンス	529
Web ネットフェンス用門扉	529
メッシュフェンス	530
メッシュフェンス用門扉	530
格子フェンス	531
格子フェンス用門扉	531
エキスパンドフェンス	532
目かくしフェンス	532
Web 防風・防雪・防砂柵	533
防球ネット	533
フェンス用ブロック	533
大型引戸	534
伸縮門扉	534
大型門扉	534
フェンス用鋼管基礎	535
組立車庫	535
ボックスガレージ	535
自転車置場	536
バス停	536
樋門上屋	537

16. ケーブル・電線

電気設備掲載価格の解説	538
600Vビニル絶縁電線	539
600V二種ビニル絶縁電線	539
600Vビニル絶縁ビニルシース	
ケーブル	540
600V架橋ポリエチレン絶縁	
ビニルシースケーブル	541
高圧架橋ポリエチレン絶縁	
ビニルシースケーブル	542
デュプレックス形架橋ポリエチレン	
絶縁ビニルシースケーブル	542

トリプレックス形架橋ポリエチレン 絶縁ビニルシースケーブル	543
カドラプレックス形架橋ポリエチレン 絶縁ビニルシースケーブル	543
アルミ導体ケーブル	543
Web 制御用ビニル絶縁ビニルシース ケーブル	544
Web 静電しゃへい付制御用ビニル絶縁 ビニルシースケーブル	545
6kV 高圧引下用架橋ポリエチレン 絶縁電線	545
縁廻用架橋ポリエチレン 絶縁電線	545
屋外用ポリエチレン 絶縁電線	545
屋外用架橋ポリエチレン 絶縁電線	545
屋外用ビニル絶縁電線	546
Web 引込用ビニル絶縁電線	546
600V 電気機器用ビニル絶縁電線	546
6kV 高圧電気機器内配線電線	546
600V コムキャブタイヤケーブル	547
600V ビニル絶縁ビニル キャブタイヤケーブル	548
溶接用ケーブル	548
器具用ビニルコード	548
マイクロホン用ビニルコード	548
屋内用絶縁電線600V IE/F	549
低圧電力用ケーブル600V EEF/F	549
高圧電力用ケーブル6kV CE/F	549
低圧電力用ケーブル600V CE/F	550
制御用ケーブル CEE/F	551
Web 制御用ケーブル CEE/F-S	552
低圧電力用ケーブル600V CET/F	552
高圧電力用ケーブル6kV CET/F	552
Web 通信・信号用ケーブル	553
LAN 用ケーブル	555
耐火電線	557
Web 警報用ポリエチレン絶縁 ビニルシースケーブル	558
Web 耐熱電線	559
電気用裸銅線	560

17. 配線材・管路材・ダクト

配線材料

Web 端末処理材料	561
接続材料	565
絶縁材料	567
接続・成端処理材料	568
配線材料部品	569

管路材・ダクト

電線管	570
鋼製電線管	570
情報BOX用管路材	571
継手付きポリエチレン被覆軽量鋼管	571
角型多条電線管	571
多段配管システム	571
多孔陶管	572
Web 電線共同溝用管路材	573
合成樹脂製可とう電線管	573
合成樹脂製可とう電線管及び附属品	573
Web 波付硬質合成樹脂管	574
金属製可とう電線管	574
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管	574
可とう電線保護管	575
ステンレス製電線管及び附属品	575
強化可とう電線管及び附属品	575
硬質ビニル電線管用附属品	576
鋼製電線管用附属品	576
合成樹脂製可とう電線管用附属品	578
波付硬質合成樹脂管用附属品	578
金属製可とう電線管用附属品	578
ケーブル保護用合成樹脂 被覆鋼管用附属品	579
耐圧防爆型電線管用附属品	579
防火区画貫通措置材	579
Web 鉄筋コンクリートケーブルトラフ	580
JRCケーブルトラフ・付属品	582
コンクリート軽量トラフ	582
鉄道用コンクリート製品	582
ライティングダクト	583
床用配線器具	583
メタルモールジング	584
Web 宅内用材料	584
レースウェイ・レースダクト	585
支持金物	586
ケーブルラック	589
点検用通路	592

18. 配電・配線器具・照明器具

配電機器

トッランナー変圧器	593
変圧器	594
コンデンサ	595
配電用制御機器	596
安全開閉器	600
電気計器	600
標準分電盤	601

スイッチボックス	601
電話用保安器ボックス	601
分電盤ボックス	601
仮設分電盤ボックス	601
Web 金属製プルボックス	602
樹脂製プルボックス	602

配線器具

Web 配線器具	603
ポール内配線器具	606

照明器具

公共施設用照明器具	607
建電協型照明器具	612
LED照明器具	613
HID照明器具	613
光電式自動点滅器	614
安定器	615
ランプ	616
LED ランプ	617
鋼管テーパーポール	618
アルミテーパーポール	620

19. 通信・防災・接地材

通信機器

インターホン	621
拡声装置	621
モータサイレン	621
防災行政無線用スピーカ	621
メガホン	622
電話装置	622
Web 電話交換部品	622
設備時計	623
システムラック	623
テレビ共聴装置	624

防災機器

火災報知設備	626
防犯機器	627

外線・接地材

Web コンクリートポール	628
----------------------	-----

コンクリート根かせ629
 ステープロック・ロッド629
 埋設標識シート629
 バンザーマスト630
 鋼管ポール632
 支線アンカー632
 電車線柱用鋼製基礎632
 コンクリート柱装柱金物633
 配電線用架線金物635
 電車線架線金具638
 送電線用架線金具641
 通信線用架線金物642
 避雷関連機器643
Web 避雷針644
 がいし645
 接地抵抗低減剤645
 接地棒646
 地中線材料646

ハンドホール・蓄電池

ハンドホール647
 耐電用品650
 降雪検出器650
 蓄電池651
 乾電池652

20. 配管材・計器・保温保冷材

配管材

配管材掲載価格の解説653
 配管用炭素鋼鋼管(ガス管) ..654
Web 水配管用亜鉛めっき鋼管658
Web 耐溝状腐食電縫鋼管658
 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 ...658
 圧力配管用炭素鋼鋼管659
Web 水道用硬質塩化ビニル
 ライニング鋼管661
Web 水道用ポリエチレン粉体
 ライニング鋼管662
 ポリエチレン被覆鋼管662
 水道用耐熱性硬質塩化ビニル
 ライニング鋼管663
Web 消火用硬質塩化ビニル
 外面被覆鋼管663
 排水用鋼管663
Web 樹脂被覆鋼管・継手664
Web フランジ(鋼板・鋳鉄)665
 ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手 ..666
Web 水道用ねじ込み式管端防食管継手 ..670

耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用
 ねじ込み式管端防食管継手671
 圧力配管用ねじ込み式
 可鍛鋳鉄製管継手672
 一般配管用鋼製突合せ
 溶接式管継手673
 配管用鋼製突合せ溶接式管継手 ..674
 排水鋼管用可とう継手676
 配管用ステンレス鋼鋼管678
 一般配管用ステンレス鋼鋼管 ..679
 配管用ステンレス鋼管継手 ..679
 一般配管用ステンレス鋼管継手 ..680
 特殊管683
 建築用鋼管684
 鋼管継手684
 鋼管用プレス式継手684
 空調用鋼管685
 さや管ヘッター工法用部材 ..685
 ポリエチレン管686
 鉛 管686
Web ポリエチレン管用継手687
 水道用ポリエチレン管金属継手 ..687
 硬質ポリ塩化ビニル管688
Web 農業用水用硬質ポリ塩化ビニル管 ..690
 水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 ..692
 硬質ポリ塩化ビニル管継手 ..695
 排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 ..696
 耐火二層管・継手697
 建物用耐火性硬質ポリ塩化
 ビニル管・継手698
 排水集合管698
Web 青銅製バルブ699
Web 鋳鉄製バルブ700
 鋳鉄製ナイロンライニングバルブ ..701
 青銅製管端コア付きバルブ ..701
Web ステンレス製バルブ702
Web ダクタイル鉄・マレアル鉄バルブ ..704
 バタフライバルブ706
 配管用防食材707
 配管用支持金具類707

計器類

排煙濃度計707
 地震感知器707
Web 計器類708
 水道メーター708
 温水メーター708

保温・保冷材

ロックウール保温材709
 グラスウール保温材710

ポリスチレンフォーム保温材 ...711
 パーライト保温材713
 けい酸カルシウム保温材714
 高発泡ポリエチレンパイプカバー ...714
 硬質ウレタンフォームパイプカバー ...714
 保温保冷用外装材類715

21. ポンプ・空調機器・ダクト

ポンプ

渦巻ポンプ716
 多段ポンプ716
 自吸式ポンプ716
 水中汚水・汚物ポンプ717
 水中タービンポンプ718
 水中ポンプ718
 オイルポンプ718
 真空給水ポンプ719
 ボイラ給水ポンプ719
 温水循環ポンプ719

空調機器

温水ボイラ720
 蒸気ボイラ721
 木質バイオマスボイラ722
 空調用・給湯用膨脹タンク ...723
 地下油槽723
 地下埋設タンク部品724
 冷凍機725
 冷却塔726
 ファンコイルユニット727
 エアハンドリングユニット ...727
 パッケージ型エアコン728
 エアフィルタ728
 エアカーテン729
 全熱交換器729
 ファンコンベクタ730
 ユニットヒータ730
 コンベクタ730
 送風機731
 ベンチレータ733
Web 換気扇734
 換気扇用部材734

ダクト

Web スパイラルダクト735
 ステンレスダクト736

オーバルダクト	736
フレキシブルダクト	737
保温材付きスパイラル管	737
グラスウールダクト	737
吹出口ボックス	737
Web 吹出口	738
吸込口	739
Web ダンパー	740
排煙口	740

弁装置

Web 自動調整弁	741
伸縮管継手	746
フレキシブル継手	747
自動制御機器	749

22. 衛生・給排水・給湯機器

衛生器材

衛生陶器セット	752
トイレルーム用付属設備	754
便槽	755
簡易水洗便器	755
汚水処理施設散気装置部品	755
浄化槽	756

給水機器

水栓金具	756
バルブボックス	758
Web ポールタップ	759
Web 定水位弁	759
液面制御機器	759

排水機器

排水金具	760
枠付き格子ぶた	762

給湯機器

ガス給湯器	763
電気温水器	763
風呂がま	763
浴槽	764
ユニットバス	765

洗面化粧台	765
洗濯機パン	765
消火器	766
Web 消火栓装置	766
Web ちゅう房器具	767

23. 環境保全・体育・福祉関連

公害防止・環境保全資材

凝集剤	768
汚濁水拡散防止フェンス	768
汚濁水防止剤	768
オイルフェンス	769
油吸着材	769
油処理材	770
減容処理剤	770
大気汚染測定分析機器	770
騒音振動測定器	770
水質測定分析機器	771
分析用前処理器類	771
鳥類飛来防止装置	772
排水再利用処理装置	772
焼却炉	773
アスベスト撤去関連資材	774
融雪関連資材	775

体育関連資材

体育関連資材	776
体育施設器具	778

福祉関連資材

視覚障害者用ビニル床タイル	779
視覚障害者用ビニル床カーペット	779
視覚障害者用誘導ブロック	779
視覚障害者誘導用点字シート	779
誘導用電子チャイム	779
室内用手すり	780
階段昇降機	780
ホームエレベータ	780

24. 建設機器・燃料・スクラップ

建設機器

Web ボーリング機具	781
Web ビット・ロッド	782
ダイヤモンドビット	783
軌条類	783
Web 溶接棒	784
吸排水ホース	784
Web 測量資機材	785
Web 旗ポール	786
試験器・測定器	786
Web ロープ用金物	787
Web ロープ加工品	787
Web 繊維ロープ	787

燃料・スクラップ

Web 燃料油	788
建設機械用潤滑油	790
建設機械用グリース	790
Web ガス	791
鉄スクラップ掲載価格の解説	792
鉄スクラップ分類表	793
Web 鉄スクラップ	794
非鉄スクラップ掲載価格の解説	796
非鉄スクラップ分類表	796
非鉄スクラップ	797

清掃保守材

清掃保守材	798
管内洗浄材	799

25. 賃貸料金

建設機械賃貸料金

「建設機械賃貸料金」及び「移動式クレーン作業料金」掲載価格の解説	800
ICT施工対応型建設機械賃貸料金	800
建設機械賃貸料金	801
Web ダンプカー用泥落装置賃貸料金	808
移動式クレーン作業料金	809

仮設鋼材賃貸料金

仮設鋼材賃貸料金	810
仮設鋼材賃貸業者置場 積み込み費・取り卸し費	814
敷き鉄板賃貸料金	815
軽量覆工板・鋼製マット 賃貸料金	817
覆工板賃貸料金	817
鋼製L型山留賃貸料金	817
重仮設用締結金具賃貸料金	818
移動式ガードレール賃貸料金	818
パネル式防護柵賃貸料金	818
近接施工用土留鋼材賃貸料金	818

仮設資材賃貸料金

仮設土留材賃貸料金	819
たて込み簡易土留材賃貸料金	819
枠組足場部材賃貸料金	820
Web 鋼管足場部材賃貸料金	821
クサビ緊結式システム 支保部材賃貸料金	822
足場資材賃貸料金	822
鋼管支柱賃貸料金	823
四角支柱賃貸料金	823
支保ばり賃貸料金	823
防護部材賃貸料金	823
鋼製型枠賃貸料金	824
マンホール型枠賃貸料金	824
化粧型枠賃貸料金	824
消波根固めブロック型枠 賃貸料金	824
現場製作護岸ブロック型枠 賃貸料金	824
組立式仮設ハウス賃貸料金	825
仮設トイレ賃貸料金	826
ユニットハウス賃貸料金	826
組立式簡易浮棧橋賃貸料金	826
汚濁水拡散防止フェンス 賃貸料金	827
保安機材賃貸料金	829
発電設備検査装置賃貸料金	829

工事費編

26. 工事費

工事費の見方	830
網場設置工	831
薬液注入工	831
地盤改良工	831
コンクリート構造物の補修・ 改修・補強工	832
素地調整工	833
土木防水工	833
コンクリート防食工	834
のり面緑化工	838
特殊舗装工	844
自発光式道路舗装工	848
特殊コンクリート工	849
グラウンド・コート舗装工	850
園地施設工	853
公園緑化工	854
擬岩工	854
Web 溶融亜鉛めっき費	855

27. 調査費・試験費

試験費の見方	856
測量成果品検定料金	857
水質分析	859
悪臭分析	860
ばい煙測定分析	860
土壌・底質・産業廃棄物分析	861
騒音レベル測定	862
振動レベル測定	862
地質調査掲載価格の解説	863
地質調査市場単価	867
地質調査	868
地中探査	870

管理資料編

28. 保守点検料金・清掃管理費

防災設備保守点検料金	871
昇降設備保守点検料金	873
清掃管理費	875
飲料水槽清掃費	877

29. 労務費・サービス料金

公共工事設計労務単価	880
建築保全業務労務単価	894
通信工事技術者賃金実態調査	896
建設情報データサービス	898
設計業務委託等技術者単価	899

30. 建設副産物処理・処分情報

建設副産物処理・処分情報の解説	901
建設副産物重量換算係数	903
建設廃棄物処理・処分費	904
流動化処理土	906
建設発生土取扱い事業所情報	907
公共施設情報	909

「海外建設資材品質審査証明」	
資材一覧	932
海外資材アクセス情報	939
輸入建設資材	940
建設物価DB利用可能積算ソフト	942
掲載メーカー問合せ先一覧	945
広告索引	962
索引	964
取扱書店・出版物等一覧	1004

Web 建設物価 単独掲載項目リスト

本誌「建設物価」に掲載がなく、「Web 建設物価」にのみ掲載がある項目は下記のとおりです。

項目名称	項目名称	項目名称
鉄鋼	組積・防水・石・タイル	鋳鉄管切断機
角鋼	防水押さえ金物（建築用）	モイルポイントチゼル
機械構造用炭素鋼管	屋根・建築金物・左官	工業用潤滑油
骨材・コンクリート杭・矢板	樹脂製グレーチング	練炭
遠心力鉄筋コンクリートくい（RCパイロ）	屋上点検口	清掃車用ブラシ
杭頭閉塞材	建築金物（特）	ディスクサンドペーパー
木材・仮設材	見切縁・廻縁	ケレン用工具
ひのき縁甲板	建具・ガラス	印刷料金・製本料金・製図用品
枕木	引戸用レール・戸車・取手・引手	製図用品
接着剤・補修補強材・塗料	物干金物	トレーシングペーパー
プラスト材	宅配ボックス	ケント紙
研磨紙	新聞受	方眼紙
道路用材	郵便箱	製図用フィルム
転落防止柵（北海道開発局型）	内外装・外構材	インクジェット用フィルム・用紙
遮音壁関連資材	住宅用門扉	電子複写（PPC、普通紙コピー）
コンクリート境界杭用基礎ブロック	壁面緑化材	製本・諸加工・表紙等
ステンレス製グレーチング（溝ぶた）	ケーブル・電線	地形図
ステンレス製グレーチング（ますぶた）	マイクロホン用耐燃性ポリエチレン	賃貸料金
ステンレス製グレーチング（U字溝）	コード（EM-MEES）	モノレール賃貸料金
上下水道・土地改良材	通信・信号用ケーブル（エコケーブル）	調査費・試験費
水道用ステンレス鋼管	警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリ	舗装工事材料試験費
水道用波状ステンレス鋼管	エチレンシースケープル AEE/F	非破壊・微破壊試験費
水道用ステンレス鋼管継手 伸縮可	（EM-AE）	工事費
とう式	耐燃性ポリエチレンシース耐熱電線	建築工事費（各種）※
水道用ステンレス鋼管継手 プレス式	（EM-HP）	設備工事費（各種）※
（SUS304）	配線材・管路材・ダクト	壁面緑化工事
水道用ステンレス鋼管継手 プレス式	合成樹脂製多孔管	
（SUS316）	合成樹脂製電線管	
水道用サドル付分水栓	配電・配線器具・照明器具	
ダクタイトル鋳鉄異形管（T形）内面エ	LED照明器具（防犯灯）	
ポキシ樹脂粉体塗装	通信・防災・接地材	
ダクタイトル鋳鉄異形管（K・フランジ	テレビ共聴装置（アンテナマスト）	
形）内面合成樹脂塗装	住宅用火災警報器	
ダクタイトル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ	太陽光発電システム	
下水道用ポリエチレン管	配管材・計器・保温保冷材	
FRP製異形管	フランジ（ステンレス）	
ボール式消火栓	エアコン配管用保温化粧ケース	
電動バタフライ弁	屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手	
不斷水分岐用割T字管	（VU）	
遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム	建築設備用ポリエチレン管	
管）エコ製品	水位計	
鉄筋コンクリート高圧管	樹脂性保温保冷外装仕上材	
小型立坑	ポンプ・空調機器・ダクト	
鉄筋コンクリートフリーフォームタイト	空気清浄機	
橋梁・河川・港湾用材	塩ビ製円形脱臭用ダクト（日本下水道	
水門用ラック式開閉機	事業団仕様）	
水門用水密ゴム	ダクト用部材	
防蝕アンカー装置	衛生・給排水・給湯機器	
一般土木用材	エコキュート	
薬液注入工法部材	建設機器・燃料・スクラップ	
樋門調査孔	コンクリートカッターブレード	
コルゲート水槽	ドリル刃	

※建築工事費（各種）、設備工事費（各種）は、「建築コスト情報」の抜粋が掲載されています。「建築コスト情報」「デジタル建築コスト情報」を併せて、ご利用ください。

「本誌の見方」

◇掲載価格の性格

建設資材や工事費等の市場での取引価格は、取引条件（取引数量、納入時期、荷渡し場所、決済条件等）が同じであっても、取引相手（信用度、継続性等）や経営戦略等によって異なっているのが実態です。つまり、取引価格は、取引者間の交渉によって決まるもので、絶対的な価格があるわけではありません。

このように実際の取引価格には幅があります。このため、当会では代表的な取引価格として、調査した取引実例のなかで最も多い取引価格を本誌に掲載しています。

なお、売り手、買い手企業は、一般的に取引価格を外部に対して非公開としています。従って、単なるアンケート的な調査では取引価格の実態を把握することは極めて困難です。

当会は、このような条件のなかで、創立以来培った信用と価格調査経験、知識をもとに、インタビュー手法を取り入れた調査手法を主体に資材や工種ごとに最も適した調査方法を用いて、かつ中立的な立場で、取引価格の実態を把握しています。

1. 資 材 編

1) 調査条件と価格の適用

(1) 掲載価格

掲載価格は、調査対象都市・地域において、メーカー、商社、問屋、特約店等から民間企業（工事業者等）に販売される「大口需要家渡し価格」です。

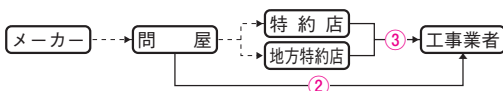
なお、一部の資材については、少量取引の場合の「小口需要家渡し価格」も掲載しています。

(2) 調査段階

調査段階は、資材ごとに流通経路図を示したうえで、各掲載都市・地域名の下段に経路別の記号で表示しています。

例えば、異形棒鋼の流通経路は図に示すとおりですが、このうち調査段階は問屋（商社を含む）と工事業者間の取引（図の実線表示の経路②）及び特約店又は地方特約店と工事業者間の取引（図の実線表示の経路③）の2段階としています。

【調査段階】《異形棒鋼》



(3) 荷渡し場所・条件

掲載価格は、都市内現場持ち込み価格を原則としています。これに適合しない場合は、例えば荷渡し場所については、賃貸業者置場渡し、倉庫渡

し、工場渡し等、また荷渡し条件については、車上渡し等と【掲載価格の解説】欄に表示しています。

(4) 取引数量

大口需要家を対象とした継続的な取引において、最も一般的とみなされる取引数量又は取引金額を表示しています。ただし、価格は資材を購入する企業の信用度や、ある期間における取引数量の多寡等によっても左右されることから、取引数量は一つの目安として表示しています。

(5) 決済条件

決済条件は、現金取引を原則としていますが、2カ月後払いは現金決済と同等とみなしています。ただし、取引時の経済情勢、取引当事者間の信用状況等によって異なるのが一般的であり、留意する必要があります。

(6) 価格の適用

前項までの取引条件以外に個々の品目に関する価格の条件として、掲載価格に含まれる項目、含まれない項目、規格、仕様等の特別な条件の違いによる価格の相違など、掲載価格の適用に当たって留意すべき事項については、【価格の適用】及び【注記】欄で説明していますのでご注意ください。

2) 調査方法と価格の決定

(1) 調査方法

当会では、ISO9001の品質マネジメントシステムにより、「資材価格調査基準」を定め、これに基づいて調査を実施しています。具体的には、売

り手側であるメーカー、商社、問屋、特約店等の調査対象者を調査員が訪問して行う「面接調査」及び電話で聞き取りを行う「電話調査」を基本とし、郵便・E-Mail（メール）等による「通信調査」を併用しています。

また、調査は資材ごとにそれらの取引実態に合った効率的な方法で行っています。例えば、1品目で多くの規格がある資材については当該品目を代表する「ベースサイズ」の価格を調査し、その他の規格の価格は規格間格差により把握しています。また、メーカー等が発表する価格表があれば、これに対する掛け率を調査するなどの手法も採用しています。

なお、実勢価格の継続的な把握が困難な資材については、メーカーが発表している価格を通信調査等により定期的に確認し、「公表価格」としてそのまま掲載しています。

(2) 調査対象者

調査対象者は、メーカー、商社、問屋、特約店等を母集団とし、その中から信頼度の高い業者を選定しています。

また、調査対象者は、当会の調査目的をよく理解し、当会との間に信頼関係が保たれていることが重要なため、原則として固定しています。

なお、必要に応じて購入者側である工事業者に対する調査も行い、売り手側、買い手側の調査結果を比較して調査価格の妥当性を確認しています。

(3) 調査期間

調査は月間を通して計画的に行っています。毎月10日までに得られた最新の調査結果を、翌月号に掲載しています。

(4) 調査頻度

調査は、資材の取引実態及び資材特性に合わせて、以下の頻度で実施しています。なお、各ページの品目名欄に「A資材」、「B資材」、「C資材」と表示しています。

A資材 …価格変動が多い資材又は建設工事等における使用頻度が比較的多い資材毎月調査を実施しています。

B資材 …価格変動が少なく、建設工事等における使用頻度が比較的少ない資材資材ごとに調査月を定め、年2回調査を実施しています。それ以外の月については、市況動向を監視し、必要に応じて調査を実施しています。

C資材 …実勢価格の継続的な把握が困難な資材〔公表価格〕

年1回、原則として4～6月の間に通信調査を行っています。なお、価格、規格、仕様等の改訂

があれば、その都度変更しています。

(5) 掲載価格の決定

掲載価格は調査結果のなかで最も多かった価格（最頻値）としますが、標本数が少ないなど最頻値の特定ができない場合は、資材の需給及び市況動向、メーカー情報、競合資材の市況動向等を踏まえた総合的な判断に基づき決定しています。

(6) 価格の検証・審査

① 調査部門の検証

調査結果は、管理職を含めた複数の調査職員が信頼性、妥当性等が確保されているかについて、総合的な観点から検証を行っています。

ア. 調査方法について

当会の定めるISO9001品質マネジメントシステムと適合し、調査対象者が適切な判断で選定されているか、資材特性に応じた調査により、実態を反映した情報が収集されているか等を検証します。

イ. 調査結果について

決定された価格が、収集した情報に基づいているか、調査条件に合致しているか、地域間格差、規格間格差、類似品目との整合や、需給動向、原材料価格との関連等について検証します。

② 審査部門の審査

調査部門とは独立した審査部門が、異なる立場と視点で調査の信頼性の維持・向上のため、品質マネジメントシステム要求事項への適合状況を継続的に審査しています。審査の判断材料には、工事業者に対するモニター調査結果及び他の価格情報との比較結果等も参考にしています。

(7) 外部の学識経験者、有識者による調査プロセス、調査結果等の審査及び監視

当会では、調査結果等について次のように第三者による審査、監視を行い価格調査結果の信頼性の向上を図っています。

調査方法、調査プロセス及び調査結果等については、大学教授、公認会計士、検査経験者、シンクタンク研究員等有識者を委員とする「評価監視委員会」を設置し、原則として年3回、委員が無作為に抽出した調査結果について評価・監視を行い、その結果不適切或いは改善すべき点があると認められた場合には速やかに改善するとともに、その内容について公表することとしています。

また、外部の有識者で構成する「価格審査会」を設置し、掲載価格について、委員が原則として毎月1回、定期刊行物等の発刊・公開前に、客観性、妥当性の審査を行い、信頼性の向上に努めています。

2. 工事費編

ここでは、工事費編について記述しています。詳細については、本文の「工事費の見方」をご参照ください。また、調査費、試験費、料金については、本文の「試験費の見方」をご参照ください。

1) 掲載価格と価格の構成

(1) 掲載価格

本誌に掲載している工事費は、元請と第一次下請専門工事業者との間の取引価格です。

(2) 価格の構成

工事費は、諸経費を含まない価格を標準としています。

また、掲載価格は、諸経費以外の費用を業種の様態によって、次のように区分しています。

- ①材工共：材料費＋労務費＋機械経費
- ②機械・手間のみ：労務費＋機械経費
- ③手間のみ：労務費

なお、各工事費について、必要に応じて構成内容、適用に当たっての条件や留意事項を、当該ページの【掲載価格の解説】欄に表示しています。

2) 調査方法と価格の決定

(1) 調査方法

掲載価格は、ISO9001品質マネジメントシステムに基づいて調査、検証、審査を行い決定しています。調査は、所定の調査票を定期的に調査対象者（事業所）に郵送等により送付し、必要事項を記入の上調査票を返送してもらい「通信調査」と、調査対象者を調査員が訪問して必要事項の聞き取りを行う「面接調査」及び電話で聞き取りを行う「電話調査」を併用して行っています。

なお、特殊な工法や新工法など元請と下請（専門工事業者）との間の取引価格の把握が困難な場合には、専門工事業者が発表している価格を通信調査等により定期的に確認し、「公表価格」としてそのまま掲載しています。

(2) 調査対象者

調査対象者は、原則として調査対象工種の専門工事業団体に属し相当程度の工事実績を有する第一次下請専門工事業者及び元請の総合工事業者です。

(3) 調査期間・調査頻度

工事費調査は、工種によって年2回あるいは年1回調査を実施しています。また、調査期間以外でも市況動向を監視し、調査の必要があると認められる場合には速やかに調査を実施します。

詳しくは本文の「工事費の見方」をご参照くだ

さい。

「公表価格」は年1回、通信調査を行っています。なお、価格、規格、仕様等の改訂があれば、その都度変更しています。

(4) 掲載価格の決定

掲載価格は、調査結果のなかで最も多かった価格（最頻値）としますが、標本数が少ないなど最頻値の特定ができない場合には、平均値や面接調査結果、市況動向等を踏まえた総合的な判断に基づき決定します。

(5) 価格の検証・審査

① 調査部門の検証

調査結果は、管理職を含めた複数の調査職員が信頼性、妥当性等が確保されているかについて、総合的な観点から検証を行っています。

ア. 調査方法について

当会の定めるISO9001品質マネジメントシステムと適合し、調査対象者が適切な判断で選定されているか、資材特性に応じた調査により、実態を反映した情報が収集されているか等を検証します。

イ. 調査結果について

決定された価格が、収集した情報に基づいているか、調査条件に合致しているか、地域間格差、規格間格差、類似品目との整合や、需給動向、原材料価格との関連等について検証します。

② 審査部門の審査

調査部門とは独立した審査部門が、異なる立場と視点で調査の信頼性の維持・向上のため、品質マネジメントシステム要求事項への適合状況を継続的に審査しています。審査の判断材料には、工事業者に対するモニター調査結果及び他の価格情報との比較結果等も参考にしています。

(6) 外部の学識経験者、有識者による調査プロセス、調査結果等の審査及び監視

当会では、調査結果等について次のように第三者による審査、監視を行い価格調査結果の信頼性の向上を図っています。

調査方法、調査プロセス及び調査結果等については、大学教授、公認会計士、検査経験者、シンクタンク研究員等有識者を委員とする「評価監視委員会」を設置し、原則として年3回、委員が無作為に抽出した調査結果について評価・監視を行い、その結果不適切或いは改善すべき点があると認められた場合には速やかに改善するとともに、その内容について公表することとしています。

また、外部の有識者で構成する「価格審査会」を設置し、掲載価格について、委員が原則として

毎月1回、定期刊行物等の発刊・公開前に、客観性、妥当性の審査を行い、信頼性の向上に努めています。

3. 留意事項

1) 掲載価格の地区表示

(1) 都市別価格

掲載価格は、その価格が適用できる都市別に表示しています。

(2) ブロック別価格

掲載価格が広域的に適用できる場合は、ブロック別に表示しています。なお、各ブロック内で適用できる都市は、次の都道府県庁所在都市及びそれに準ずる都市です。

ブロック名	対象都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
北陸	新潟、富山、石川
中部	静岡、愛知、三重、岐阜
近畿	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

(3) 全国価格

掲載価格が47都道府県庁所在都市及びそれに準ずる都市で適用できる場合には、「全国」価格として表示しています。ただし、北海道、沖縄など一部の地域で掲載価格が適用できない場合は、各ページの「**価格の適用**」欄に「北海道、沖縄価格は別途」などの注記を表示しています。

2) その他の事項

(1) 掲載価格の単位

掲載価格の単位は原則として「円」です。

(2) 消費税

掲載価格は消費税抜きで表示しています。ただし、「建設副産物処理・処分情報」の公共処分場料金については、消費税を含むものがありますので、各処分場の注記欄を参照ください。

(3) 公表価格

「公表価格」はメーカー等が発表する価格をそのまま掲載しています。したがって、実取引では値引きされることがありますので、ご利用に当たってはご注意ください。なお、各ページの品目名欄に網掛けをし、実勢価格と区別しています。

(4) 価格欄の特殊な表示

市場で取引のないもの、取引の実態が確認でき

ないもの、あるいは価格の決定が困難な場合は、次のような表示をしています。

・[-]

当該地区において市場性がないもの等、市場で流通が確認できない場合を示しています。

・[…]

当該地区において市場での取引実例が極めて少ない等、掲載価格の決定が難しい場合を示しています。

・[イタリック体数字]

当該地区において市場の実取引価格は確認できないが、最寄りの地区にその資材を持ち込んだ場合の価格、あるいはその資材が市場に流通しているものの、実取引価格の確認が困難である場合に暫定的に決定した価格であることを示しています。

(5) 主要資材の価格動向

主要資材の価格動向については、掲載価格の前月比と気配を各ページの価格欄上部に「**前月比**」**気配**」で表示しています。

なお、市況記事における期間用語については、次のような使い分けをしています。

- ・当面……半月程度
- ・目先……ほぼ1カ月以内
- ・先行き……1～3カ月

【免責事項】

1. 本誌に掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、利用者がその情報を用いて行う一切の行為について当会は何ら責任を負うものではありません。
2. 本誌に掲載している資材に係る特許、実用新案、意匠、商標等の係争について当会は一切関知いたしません。

■本書の訂正等情報のお知らせ

建設物価調査会公式ホームページの【刊行物訂正等情報】をご参照ください。

※メール配信サービス(刊行物訂正等情報のお知らせ)についてご登録いただいた方に、当会が発行する刊行物訂正等情報をメールでご案内いたします。

「会社名」と「お名前」を明記していただき、以下のアドレス宛てに送信ください。

syusei@kensetu-bukka.or.jp

掲載資材等に対する質問と回答は、当会 HP の「よくある質問 Q&A」に主要な内容を掲載しております。

information

【主な価格変動情報】

- ◆東京地区では、異形棒鋼、ねじ節鉄筋、軽量鋼矢板、ステンレス鋼（一部規格）、枠組足場、カラー舗装材、道路標識柱、レジンコンクリート製マンホール、石灰、建築用コンクリートブロック、鉄スクラップ（ステンレス除く）、非鉄スクラップ（銅）、移動式クレーン作業料金などが上伸。H形鋼、等辺山形鋼、溝形鋼、鋼板（厚16～25mm除く）、コラム、ステンレス鋼（一部規格）、一般建築用木材（米つが・アカ松除く）、コンクリート型枠用合板、普通合板－JAS品－（一部規格）、構造用合板－JAS品－、非鉄スクラップ（アルミ）などが下落。
- ◆生コンのベース価格では、【北海道】室蘭、北見、網走、紋別、滝川、深川、中標津【山形】新庄【富山】富山【石川】小松【岐阜】多治見、瑞浪、美濃加茂、揖斐川、御嵩【静岡】浜松、袋井【愛知】半田【三重】名張、伊賀【兵庫】丹波【和歌山】和歌山、橋本、有田、御坊、田辺、岩出、有田川B、日高川B【島根】松江、安来【岡山】岡山、倉敷A、津山、備前、美作、西粟倉、久米南【山口】山口C、萩A、萩B、長門【香川】高松、丸亀、坂出【高知】安芸、須崎、四万十、越知【福岡】大牟田【沖縄】那覇、宜野湾、沖縄、金武 以上全国54地区で上伸。（「Web 建設物価」掲載都市含む）。

※生コンの都市情報については、本誌81頁または「Web 建設物価」生コン掲載価格の解説欄をご参照ください。

掲載価格と最頻値集中度

【調査価格の解説】

1. 調査時期 令和5（2023）年3月10日現在
2. 荷渡場所 東京都市内現場持込み（鋼材は車上渡し、生コンクリートは17区、再生アスファルト混合物は14区）
3. 決済条件 現金決済

品名・規格	単位	掲載価格 (最頻値) (円)	最頻値集中度 (%)	取引数量
異形棒鋼 SD295 D16	t	116,000	55	50～200 t
H形鋼 SS400 200×100×5.5×8mm	t	123,000	60	50～100 t
セメント 普通ポルトランド バラ	t	13,000	50	200～1,000 t
レディーミクストコンクリート 18-18-25(20) 普通ポルトランド	m ³	17,800	60	500～2,000m ³
コンクリート型枠用合板 12×900×1,800mm 輸入品	枚	2,080	55	1,000枚程度
再生アスファルト混合物 密粒度 13	t	9,900	50	200～2,000 t

最頻値集中度とは：調査データに占める最頻値（掲載価格）の分布の割合（集中度）を示したものである。

建設分野における外国人材の活躍⑨

様々な経験を通し、 私自身の“現在地”を 見つめる

株式会社 安藤・間

建設本部 土木技術統括部
技術第二部 構造物グループ

ルイサ サンタ スピティア
(Luisa Santa Spitia.)

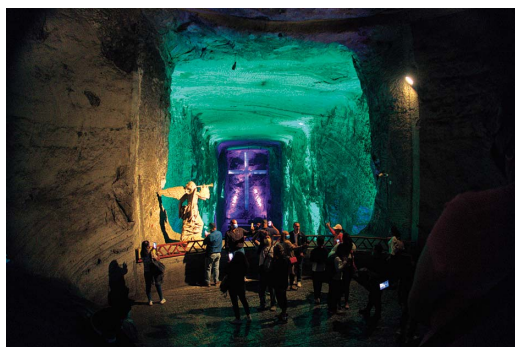


シバキラは、コロンビアのクンディナマルカ県にある都市。人口は約13万人。
首都ボゴタの50km北に位置している。

公益社団法人土木学会国際センターでは、日本で学ぶ外国人留学生や若手外国人技術者の支援を行っています。今回は、(株)安藤・間でご活躍されているルイサ サンタ スピティアさんをご紹介いただきました。子どもの頃の日本のイメージ、学生時代の経験、将来への思いなど綴っていただきました。

■はじめに

私は、コロンビアの首都ボゴタから北に50kmのところにある小さな町シバキラで生まれました。私の故郷はコロンビアでも有名で、3000万年前の第三紀に塩のドームが形成され、ヒスパニック時代以前から利用されてきた塩の大聖堂があります。最初の入植者は鉱山で塩を採掘し、塩を通貨としてさまざまな物資を手に入れておりました。



塩の大聖堂

その塩の採掘は現在も続いています。旧鉱山の坑道は現在、大聖堂として利用されており、年間約70万人の人々が訪れています。



ルイサ サンタ スピティアさん

シパキラは観光地でありながら、現在13万人ほどの人口を抱える静かな町です。人口の多くは、輸出用の花の栽培、農業、畜産業に従事しています。アンデス山脈に位置し、平均標高は2,650m、最高地点では3,000mに達します。そのため、気候は12℃前後と寒冷です。コロンビアは熱帯に位置する国ですが、私の故郷の気候は寒くて雨が多いと聞くと、多くの日本人に驚かれます。

人生の最初の21年間をシパキラで過ごしました。私は町外れの家で育ったので、兄弟と一緒に近所の畑で遊ぶことができました。母は朝食にアレパを作り、時には昼食や夕食にもアレパを作ってくれました。アレパは、トウモロコシを使った代表的な食べ物です。トウモロコシを茹で、挽き、練り、特徴的な形に成型して焼きます。アレパには、地域によってさまざまな種類があり、トウモロコシの種類、大きさ、太さ、



アレパ

添え物もさまざまです。母がよく作ってくれたのは、中にチーズを入れたもので、いつもコロンビアの主食であるコーヒーと一緒に食べていました。シパキラではコーヒーは栽培されていませんが、300km離れた母の故郷キンジオでは、世界一のコーヒーが栽培されているのです。母である彼女は幼い頃にコーヒーを摘んでおり、私たち兄弟はそのコーヒーを飲んで育ち、今も毎日コーヒーを飲んでいます。

■日本へのアプローチ

多くの外国人がそうであるように、私の日本への最初のアプローチは、日本のテレビ番組です。印象に残っているのは、全国ネットで放送されていたNHKの番組です。7～8歳の頃楽しく見ていた教育番組です。『なんなんなあに』、『大きくなる子』、『できるかな』などは、90年代のコロンビアで育った子供たちには懐かしい番組です。私と同年代の日本人はこれらの番組を見ていなかったのに、逆に50歳以上の日本人が懐かしく思い出してくれるのは不思議なことです。しかし、日本のアニメといえば、80年代に日本アニメーションが制作した『グリム名作劇場』が1位であることは、コロンビア人なら誰もが認めるところです。私が今日まで覚えている限り、毎週日曜日の朝に全国ネットのテレビで放送されていました。コロンビア人なら誰でも、この番組のイントロの歌をおぼろげに日本語で口ずさむことができますが、このアニメが日本では全く人気がなかったのには少し寂しさを感じます。

父はガラス工場で働き、母は家で洋服屋

をしており、私は2人の兄と同じように町の中心部にある学校に通っていました。私は90年代のコロンビアの厳しい現実からやや離れて暮らしていました。ニュースでは、爆弾や何千人もの負傷者、誘拐された人々、最果ての地での軍とゲリラの銃撃戦が映し出され、これが普通だと思って育ってきました。残念なことに数十年経った今でも、私の国ではそれが現実なのです。ある日、父の通勤途中のバスが元ゲリラのM-19にハイジャックされました。数時間、バスの乗客が拘束されましたが、悲劇的な結末を迎えることなく、解放されました。被害者の中には自分の名前が載っている新聞を持っている人もいます。コロンビアの長年の暴力が、この出来事を普通のことだと思わせているのは悲しいことです。

一方、14,000km離れた日本では、80年代、90年代にハイテク製品の輸出大国となりつつありました。日本を映すテレビの映像やニュースを見ると、知的で勤勉な人たちが日本にはたくさんいて、ロボットまで作れる最先端の技術を持っている国だというイメージを抱きました。私にとって日本は、何でも可能な魔法の国のようなもので、行ってみたいと夢見ながらも、その可能性を微塵も考えられない場所でした。

若い頃は自分の将来を考えると不安だったのを覚えています。親が大学の学費が大変だと言っていたのを覚えています。親が私や兄弟に高等教育を受けさせるために最善を尽くしてくれることは分かっていたのですが、それが叶わない可能性が高いことも理解していました。

■大学生活の思い出

歩道橋と信号機が1つずつしかない村のインフラを整備するために、土木工学を学びたいと、無邪気に憧れていたのかもしれませんが。学校の前にあった橋が、理由を知る由もなくある日突然崩れました。橋を再構築するためにエンジニアになりたいとずっと思っていました。コロンビアの首都ボゴタに行ったときには、大きな橋やたくさん建物の建物を見て驚いたのを覚えています。

幸い、私はボゴタにあるコロンビア国立大学の土木工学科に合格しました。この大学はコロンビアで最も権威のある大学で、公的資金で運営されていたため、学費がほとんどかからずに学士の学位取得という私の夢を実現することができました。ごく一部の学生しか合格できない大学でしたので、合格の知らせを受けたときはとても嬉しかったのを覚えています。私の学校からは私一人しか受からなかったのも、信じられない思いでした。今日、別の視点から見ると、それはコロンビアの現実の悲しい反映でもあります。幸運にも勉強できる人は、ごく僅かであるように思われるからです。

シパキラから大学までは2時間もかかるのですが、5年間通学してなんとか土木学士として卒業することができました。

大学で勉強していたある日、ある人が「建造物の優れたところを学びたいなら、日本語を学んで日本へ留学したほうがいい」と言ったのを覚えています。このアイデアはとても素晴らしいものだと思いますが、その時は可能な事だとは思っていませんでした。しかし、このことは私の心の片隅に留めておきました。

■就職そして日本へ

その後、リスクコンサルタント会社に就職した私は、洪水で人命が失われ、災害援助もままならない村々を訪ねました。病院も水浸しで営業できず、お通夜は船で行わなければならない状態でした。しかし、そのような状況でも、JICA が寄贈した図書館は壊れることはありませんでした。それを見て、私は日本への憧れとともに、自分の国を助けてくれたことへの感謝の気持ちを胸に納めました。

そこで数年働いている中で、プロとして成長するためにはより専門的な勉強をしなければならないことに気づきました。学部と同じ大学で修士課程に進むことも考えましたが、大学院には国の補助金が出ないので、修士課程に進むだけの資金がありませんでした。そこで、母国とは別の国の政府が勉強を続ける機会を与えてくれるかもしれないと考え、メキシコ国立自治大学の地盤工学の修士課程に入学することを決めました。この年、土木工学の修士課程に入学したコロンビア人は5人だけでした。改めて、とても幸せなことだと思いました。

その後、海外に住みながら勉強することが可能だと知り、日本に留学する夢を思い出しました。地盤工学の博士課程に応募し、2回不合格となりましたが、3回目の2014年に文部科学省の奨学金の支援を受けて東京大学ようやく合格することができました。信じられないことに、コロンビア人の奨学金は年間4人分しかないという難関を再び突破することができたのです。

■日本企業への就職

卒業を控えた2017年の数か月、多くの同級生と同じように日本で生活が続けるといふシナリオを夢見ていました。日本語が話せない人にはチャンスはほとんどないものでしたが、今まで不可能に近いチャンスを得てきた自分の運を信じて、いくつかの日本企業に履歴書を提出し、面接を受けました。幸いなことに、2017年10月から株式会社安藤・間に勤務することが決まりました。

最初の2年間は、国際事業本部に配属されました。そこで私は、東南アジアのプロジェクトで、建設現場を本社から支援するエンジニアとして働きました。橋梁やトンネルなど、さまざまなプロジェクトで仮設構造物の計算や入札用技術資料の作成を担当しました。地盤の圧密管理をしながら、工事の進捗を管理する作業もしました。また、新たに工程管理するプログラムの導入も担当しました。この仕事の中で、ラオス、インドネシア、カンボジア、ミャンマー、タイ、ネパール、スリランカの建設現場に出張する機会を得ました。これらの国への訪問は、私に新しい豊かな経験をさせただけでなく、母国や日本政府の援助だけが来ていた災害援助の「忘れられた地域」を思い出させ、ノスタルジックな気持ちになりました。ある意味、自分の国ではありませんが、自分が役に立てる立場になっていることに喜びを感じました。

■ロールモデルに向けて

その後、国内の土木技術部門に異動になり、現在に至っています。ここでは、海外

出張がなくなり、日本の現実に関わることになりました。なんとなく外国人優遇バブルの中で生きてきた私は、日本で働き、暮らすということがどういうことなのか、真に向き合わなければならなくなりました。特に日本語がまだあまり上手でないことと、日本の習慣や文化の中で自分なりに動けていないことが、正直なところ大変なことでした。

私は構造物を主に支援するグループに所属しているので、全国の建設現場をサポートするほか、最近では研究開発プロジェクトも担当しています。建設現場の支援では、土留掘削時の仮設構造物の計算、地下水の流動解析、コンクリートの温度変化応力の計算などを担当しています。

研究開発の面では、セメント改良土を用いた土留の開発プロジェクトに取り組んでいます。シートパイルや親杭を使った一般的な掘削に代わる、経済性・工程の面でより実現性の高い選択肢となるべく開発をすすめています。このプロジェクトの開発のために、私は昨年、さまざまな土とセメントの組み合わせに対する応力試験や、土とセメントと補強材の相互作用試験を何度も実施しました。また、実験室で土留を模擬したテストも行う予定です。これは確かに、私にとってエキサイティングなテーマです。この新しい土留めの方法が成功し、建設現場の生産性向上に何らかの形で貢献できる可能性があると思うと、とても楽しみです。

今思えば、こんなところに住んで、こんな仕事をしているなんて、子どものころは想像もしていませんでした。あの時、それがわかっていたら、自分の夢を誇りに思っていたはずです。今後の予定については、正直なところ、あまり明確ではありません。

私が人生で学んだことは、訪れたチャンスを受け入れ、それを最大限に活用することです。

私の夢はロールモデルになることです。子供の頃に見てもらいたい女性エンジニア像になりたいと思っています。これからも、自分の専門分野で活躍し、もしかしたらまだ経験していない新しい土木の分野も経験してみたいと思っています。そして、自分を信じる必要がある女の子や、日本でのより良い未来を求める若い外国人達にインスピレーションを与えることができたら願っています。

■おわりに

正直なところ、国や両親・兄弟と離れるのはつらいことです。彼らが私のいない人生を歩み、私が彼らから離れて人生と子育てをしなければならぬことが苦痛でなりません。私は、自分の国の暗い未来から逃れ、より良い未来に貢献できていないことを、ある意味痛感しています。

適応するのはとても大変でしたが（今も）、おそらく私が想像していた以上に、日本は私の居場所となっています。いつまで？ どうでしょう。一時的であれ、永久的であれ、私はただ、ここでも地球の裏側でも、何らかの役に立ちたいと願っているのです。

※土木学会国際センターの詳細は、以下のHPをご覧ください。

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

人間の行動原理に則した心理学で
建設産業の様々な問題を解決したい



未来を 創る 研究室

総研
Presents
Vol.17

建設業の次世代を担う
大学研究室訪問

建設物価調査会の総合研究所では、次世代を担う若者の育成・支援や様々な研究を通して建設事業の健全な発展と活性化に寄与する研究支援プロジェクトを行っています。その一環として、広く建設に関係する研究室を紹介します。

芝浦工業大学 工学部 土木工学科
社会・教育心理学研究室

OKADA YOSHIKO

岡田佳子 教授 修士(教育学)

1998年3月 早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専修 卒業

2000年3月 早稲田大学大学院教育学研究科修士課程学校教育

専攻 修了

2005年3月 早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程

教育基礎学専攻 単位取得満期退学

2005年4月 早稲田大学・東洋大学・東京女子大学 非常勤講師

2007年4月 目白大学 非常勤講師

2010年4月 芝浦工業大学工学部共通学群 准教授

2019年4月 芝浦工業大学工学部土木工学科 准教授

2022年4月 芝浦工業大学工学部土木工学科 教授(現在に至る)

専門分野 教育心理学、社会心理学、教育工学

研究テーマ | 土木工学の様々なテーマに心理学からアプローチする研究室です。市民の防災意識はどうしたら高まるのか？人が「良い」と感じる景観とはどのような要素で決まるのか？問題解決のための合意形成・意思決定をするには？心理学は人の心を科学する学問です。目に見えない対象(意識、イメージ、感じ方...)を調査や実験、行動観察等によって測定し、統計解析を用いて研究を進めています。



「ぞってみたい」という衝動で切り拓く 心理学と土木工学の境界領域

緑に囲まれた芝浦工業大学大宮キャンパスの4号館に、岡田佳子教授の社会・教育心理学研究室は入っている。大学内の組織改編によって、2019年に土木工学科に編入された新しい研究室であり、岡田先生もそれまでは土木とは無縁の教育研究者だった。

大学時代は心理学を学ぶのが楽しくて、最前列で講義を受けて、それでも「まだ足りない」と大学院へと進んだ岡田先生も、今では土木という分野が面白くて「もう一度、学生になって勉強したいぐらい」と目を輝かせる。

土木工学は、道路や橋梁といったインフラ整備のハード面の印象が強いが、英語では「Civil Engineering：市民工学」と言われるとおり、人々の生活を支え、安心・安全を守るための学問であり、近年では防災や景観といったソフト面についても重要視されている。

一方、心理学は、目に見えない人の気持ちや心の動きを科学的な手法によって把握し、より良い社会づくりに活かそうという学問であり、多種多様な分野で活用されている。

様々なステークホルダーが存在し、多くのコミュニケーションによって仕事を進める建設産業においては、防災意識の喚起や社会的な合意形成、人が心地よいと思う景観に考慮した街づくりの提案など、心理学を活用できるシーンは非常に多い。これらのことから、土木工学と心理学は親和性が非常に高い。

現代の建設産業が内包する様々な社会問題について、心理学的なアプローチを用いて解決方法を提案する土木の専門家は多いが、心理学の専門家がそれを研究するケースはそう多くはないだろう。縁あって土木工学科に編入されたことで、その機会を得ることになった岡田先生は、門外漢だからこそ見えてくる土木の魅力は多いと語る。「心理学サイドから見ると、無限のお宝が埋まった未開の地」という岡田先生は、土木工学と心理学の境界領域を、持ち前の「好奇心」と、専門分野である「心理学」で切り拓こうとしている。



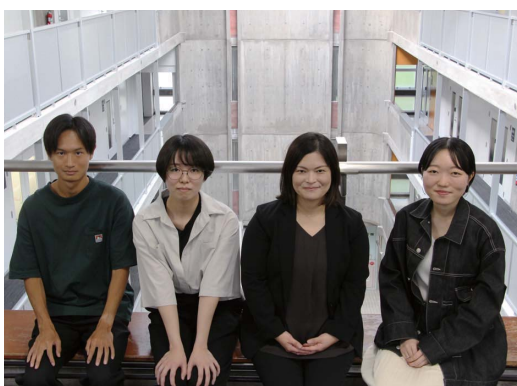
1



2



3



4

- 1 | 大宮キャンパスには、工学部の他に2つの学部が入っている
- 2 | 岡田研究室が入る4号館は、文系の研究室が多く入っている
- 3 | 岡田先生の書架には土木系の研究室では見慣れない教育書などがズラリ
- 4 | 研究室が入る4号館の吹き抜けでの集合写真



河谷好晃（かわたによしあき）

4年 山口県出身

趣味…箱根を走ることを夢見て
駅伝に青春を捧げてくださいました

大変だとは思いますが、
だからこそ挑戦したい土木への道

都会に対する強い興味や憧れがありました。多くの人が生活する大都市は、無秩序の様に見えるのに、大きなトラブルが発生することなく安全に機能しています。その都市メカニズムを知りたいと思います。都市工学が学べる土木学科へ進みました。

研究室では「土木」のイメージ改善をテーマとした研究をしています。昔から3Kと言われ、土木が持つ負のイメージを払拭するためには、どのような取り組みが効果的かという研究です。

就職では、土木事業に強いゼネコンを希望していました。自分が携わった土木構造物が見知らぬ誰かの生活を支えている様子を自分で見てみたいという思いがあったからです。仕事は大変だとは思いますが、自分がどこまでやれるのかを試してみたい気持ちが今は強いです。



高山実緒（たかやまみお）

4年 埼玉県出身

趣味…液晶ペンタブレットを使ってイラストを描くこと

人とのコミュニケーションを駆使した
「作らない土木」で社会に貢献したい

数学が得意だったので、大学進学は理系学科を考えていました。元々が公務員志望だったこともあり、技術系の学科が一番の近道だと思い、土木工学科へと進みました。父親が土木技術者なので、土木が身近だったということもあります。

実際に大学で学び始めると、土木が人々の生活に溶け込み、街を歩けば、目に見えるモノすべてが建設産業と関連して、人々の暮らしを支えていることを実感しました。大学での学びや経験を通して、構造物を作るだけでなく土木ではないのではないかと思に至りました。

あえて「作らない土木」に興味を湧き、建設産業を下支えする調査会社への就職を決めました。大学で学んだ土木と心理学の知識を活用して、人とのコミュニケーションで仕事したいと思っています。



新里あづみ（にいさとあづみ）

4年 埼玉県出身

趣味…あんみつなどの和菓子が大好き
お土産のどら焼き、ご馳走様でした

防災と緑化を両方実現できる
公務員はまさに天職

父親が技術系の公務員で、自然災害が発生すると深夜でも仕事に向かう姿を見て育ったので、自分も土木系の技術職に就きたいと思っていました。東日本大震災を経験してからは、防災分野への興味からインフラ整備を学びたいと、土木工学科に進みました。

元々、心理学に興味があり、趣味の街歩きで景観の研究ができることもあって岡田研究室を選びました。沿道の緑視率が人々の心理・行動パターンにどんな影響を与えるのかという研究をしています。

4月からは、緑地計画や景観計画に力を入れている自治体で働きます。緑あふれる公園などのオープンスペースは、震災発生時の避難所や活動拠点としての役割を担います。将来は、どんな人からも信頼され、親しまれる公務員になりたいと思います。



心理学をどのようにして土木工学分野で活用するかをまとめたパネル



豊洲キャンパスの研究室を含む4つの研究室での合同ゼミでの一枚